

主なご意見等と区の考え方、対応（令和6年度 第2回生野区区政会議 全体会）

主なご意見・ご質問等		委員名	区の考え方、対応	担当課
学校跡地活用	大阪市内の学校跡地は基本売却であるが、生野区は例外として災害避難場所の確保や地域コミュニティの場の確保ということで学校を残すことにしている。しかしながら、生野区が抱える少子高齢化、住民減少、空き家問題など、この先のことを考えると、学校跡地をすべて残すことか最善かどうか不安に思う。学校の敷地は広いので、スーパーや病院ができれば、近隣住民の生活もしやすくなるし、戸建てやマンションが建てば子育て世帯や住民が増える要因になる。新しい施設、新しいまちづくりが、輪になって広がっていき、生野区の活性化につながるように行政として考えていただきたいと思う。	福田委員	私どもといたしましては、密集住宅市街地ということで、特に生野区の西部地区につきましては、大きな場所もなかなかないということでもございます。また、これまで地域の皆様方の愛着ある施設ということで学校というのは位置づけがあったかと思えます。そういったものを、皆さん方のご意見をいただきながら重要と考えまして、地域の中に残しながら、学校跡地を核としたまちづくりということで学校の跡地を拠点といたしまして、地域の皆様方との交流や、事業者も入りまして、そういった活性化を目指していきたいことを考えているわけでございます。跡地活用を始めてまだ数年ではございますけれども、我々も事業者を支援ししっかりと取り組んでまいります。	地域まちづくり課
老朽化対策	老朽化している空き家を本当に何とかしていかないといけない。改修や解体に関しても補助金を出していただいていると思うが、もっともっとしていかないと進まない。	西村委員	生野区内には、老朽化した空き家がたくさんあるような状況になっております。いろいろな空き家の調査をさせていただく際に、やはり、いろんな要因でなかなか進んでいないというケースもあります。それらの課題を我々のほうも研究しまして、解決をしていくということも当然していかねばならない。そうすることによって、やっと新しく所有された方も、次の活用というふうを考えていけると思っております。	
教育のあり方	生野未来学園の教育のあり方について、試験結果が非常に思わしくなく、大阪市は全国でも下位だが、その中でもさらに低いという結果が出ている。ぜひともこの3年間をしっかりと検証していただいて、皆さん方がおっしゃられていたすばらしい学校というのは、こういう学校なんですと具体的に示していただきたい。そのうえで、ちゃんとその学校を実現できるようにしてほしい。	須郷委員	義務教育学校生野未来学園につきましては、9年制の学校として、9年間を通してのキャリア教育というところに力を入れておりまして、子どもたちが将来の夢を持つこと、また、子どもたちの生き抜く力をどう養っていくか、そういうところに注力して、この間取組を進めてきているところでございます。これまでの学校の取組、教育委員会や区役所の支援の状況について、その辺りもしっかり踏まえて、改めて、これから足りない部分なり、できる支援なり、取組というのをまた考えて取り組んでいく必要があるかなと考えております。	
委員の比率	この会議自体、女性が少なくアンバランスと思う。また、生野区は外国の方がたくさんいらっしゃるの、その人たちの出席は無理なのかなとも思う。こどもの未来を考えるなら、子どもたちにも意見を聴くとか。参加者の見直しがあってもいいのではないかな。	西村委員	各地域、各団体からご推薦いただいて委員が決定しますが、次の改正の時に各地域、各団体から、ぜひ女性の委員を多くご推薦いただきたいと思えます。また、外国籍の委員についても、これは公募委員の募集のときも、何人か外国籍の方もおられ面接もさせていただきましたが実現しませんでした。今後いろいろな形で、若い方、外国ルーツの方のご意見もいただきながら進めていければと思っております。	企画総務課

主なご意見等と区の考え方、対応（令和6年度 第2回生野区区政会議 全体会）

主なご意見・ご質問等		委員名	区の考え方、対応	担当課
「生野区グローバルタウン物語」プロジェクト	生野区の「遊んでも暮らしても働いても面白い」異和共生のまちづくりというスローガンはいいのだが、人権と言うもう一つの両輪がないと、前だけ一生懸命走っても、後ろは全然走らないような状態になるんじゃないかと危惧している。むしろ、全国で一番外国人比率が高いのであれば、政治的な問題もあるが、国にもうちょっと外国人の人権を守ってほしいとアピールしてはどうか。	安委員	この「グローバルタウン物語」プロジェクトの土台になるのは、もちろん人権と考えております。その上で、我々のそれぞれの施策というふうを考えております。また、生野区の長い歴史、在日コリアンの方々との長い共生の歴史、そして、コリアタウンも多くの方が学びに来られるという、それも強みということで考えております。よって、異和共生を生野区の全ての基本理念としておりますので、その部分は、このプロジェクトの前提として当然あるわけですが、活性化が過剰にイメージとして前に出過ぎないように、そういう人権、多文化共生、その歴史も踏まえたところにあるというところの言いぶり、書き方、それは工夫したいと思っております。	企画総務課
	生野区の強みは、在日コリアンの人たちとの長きにわたる共生である。ヘイトスピーチや差別問題を抱えているとはいえ、共生してずっと生きてきたその良さがあるからこそ、コリアタウンのフィールドワークに多くの方が来ている。多くの方がこの地域の歴史と共生の歴史を学びに来ている。人権があつての多文化共生で、人権感覚がすばらしいところであるという上になつて施策提案すると生きてくると思う。 地域のごみの問題、騒音の問題など、何ひとつクリアされていない中ではやはり住民の感覚はついてこないし、夜市がいつやってるのかもよく分からない。ここが人権の発信地であるということにもっと力を入れてほしい。	足立委員		
	すごくいい話であるが、コリアタウンというのは、昼間は人が多く、公園で飲食してる方がたくさんおり、ごみの問題や交通問題等ひどい状態である。こういった問題が全部クリアでき、次のステップで夜市をしたいとなると分かるが、昼も夜もひどい状況にするのか。 国内の人間が活性化するのであればいいが、インバウンドが来て、飲食して、暴れて、騒いで、帰るとするのは、近隣住民からすると、もう勘弁してくれという感じである。	平島委員		

その他のご意見等		委員名
コミュニティFM	生野区は多くの国の方が住んでいるので、日本語を教えるということが非常に重要ではあるが、我々自身がほかの言語も少し覚えていく努力も必要じゃないかと思う。翻訳機の使用などが苦手な世代の方とか、取り組めていない企業、商店の方などに、区としてサポートをぜひお願いしたいと思う。また、くらしの安全・安心部会での意見であった、コミュニティFMなどの取組の後押しをしていただけたらと思う。	中村(一)委員
	コミュニティFMについて、生野区は独特なので、すごくいい企画かなと思う。ぜひ前向きにやっていただきたい。	永裕委員
その他	保健師さんたちもそうだが、現場の方が柔軟に地域の方の声を聞いて動いてくれる機会がすごく増えているなどと思っている。施策をやっている中で、どうしても批判というのはたくさん出るとは思うが、それはそれで受け止めつつも、臆せずに、新しいチャレンジをぜひしていただきたい。	永裕委員